かがやく笑顔

山梨県立やまびこ支援学校
相談支援部通信
令和５年　３月２４日発行

＊「かがやく笑顔」はやまびこ支援学校の校訓です

春風が心地よく、暖かい春の日差しを感じる頃となりました。今年度は本校の地域支援業務において、制限や調整をさせていただくこともありましたが、感染症の影響が少しずつ緩和され各学校、関係機関の皆様との連携を深めながら業務を進めてくることができました。今年度も本校の地域支援活動につきまして、御協力いただきありがとうございました。

新年度に向けて、担任や担当の先生は、環境が変わっても子ども達がスムーズに学校生活を送るために引継ぎの在り方が重要です。子どもの実態や課題点、また有効な支援方法についてまとめ、先生方が積み重ねてきた成果を次年度につなげられるように御準備をお願いいたします。また、就学・進学にかかわる相談は先を見据えた進路選択をしていくために、早い時期からの相談をお勧めします。すぐに来校や訪問が難しい場合でも、電話相談は随時受け付けていますので今後も御活用ください。

令和４年度　やまびこ支援学校　地域支援状況について

	幼保	小	中	高	その他	合計
教育相談	6	4	16	0	0	26
訪問支援	1	23	9	0	0	33
研修支援	0	3	0	1	4	8
合計	7	30	25	1	4	67

※ケース数での集計となっています

【教育相談】

今年度も個別対応を基本とし幼児児童生徒、保護者、学校関係者への相談を行いました。年々、進路決定時期よりも早い段階からの相談が増え、複数回の教育相談を実施した上で進路を決定する様子が見られています。また、教育相談だけでなく授業体験により、本校での生活に見通しをもち選択する過程の大切さを改めて感じました。一人一人がじっくりとよりよい学びの場を選択できるような情報提供と時間の確保を今後もよろしくお願いします。

今年度はオープンスクールを4年ぶりに開催することができ、就学進学に係る情報提供の場として御活用いただく機会となりました。しかし、感染症対策として対象者を限定した形での実施となったため、幅広く関係機関や関係者、地域への発信をしていくための情報提供の方法については検討していきたいと思います。

【訪問支援】

訪問した学校については、小学校からの依頼が約7割を占めており、地域差はあるものの支援対象地域6市村の全小学校のうち半数以上の小学校からの要請がありました。これまでは通常の学級からの相談が大半でしたが、今年度は特別支援学級からの相談が増加しました。

相談内容は発達障害の二次障害や他の障害を併せもつケースが増加し、複雑化している傾向があります。また、課題の背景は障害や特性への対応のみならず本人や保護者の思いを含めた複雑な課題があり、多様な視点からの見取りとともに関係機関との連携の意識や認識も必要だと考えます。

【研修支援】

各校からの校内学習会等での講義や連携機関主催の研修会への参加の依頼をいただきました。今後も先生方の実践に活きるよう、有益な研修を実施していきたいと思います。

令和４年度　外部専門家活用について

本校には心理士が2名、作業療法士が1名配置されています。校内における日々の相談では支援の方向性や自立活動の指導内容や方法の提案をいただき、支援・指導の改善につなぐことができました。また、校内基礎研修会（心理士、OT）、事例研究会、（心理士）を実施し、専門的な視点からの児童生徒の実態の捉えなおしや問題行動の背景や課題の整理に活かすことができました。今年度は地域の学校からも外部専門家の帯同訪問の依頼が増え、心理士・OT による帯同訪問、心理士による研修会を実施しました。今後も専門家の同行が必要な場合には御相談ください。活用状況は以下の通りです。

基礎研修会（OT）

	小学部	中学部	高等部	外部	合計
心理士①	2	4	7	1	14
心理士②	1	5	3	1	10
OT	2	3	6	3	14
PT	4	5	4	0	13
合計	9	17	20	5	51

※PT は学期に１回の相談を実施

今後も東部地域のセンター校としての役割を果たせるよう、支援地域内の学校、教育委員会及び関係機関との連携を深め、地域の特別支援教育の推進に努めていきたいと思います。

【問い合わせ】山梨県立やまびこ支援学校　　〒409-0618　大月市猿橋町桂台３丁目 31－1

TEL　0554-23-1943　　FAX　0554-23-1946

E-mail　soudanshien@yamabikoy.kai.ed.jp

相談支援担当：小林 由季、犬飼俊太郎